



心をつなぐ (3)

- 学校通信13、15号に続き、体育フェスティバルの様子を紹介します。1年生の皆さんの「心をつなぐ」瞬間、精一杯頑張る姿です。全員、輝いています。(写真ばかりの通信になりましたがご容赦ください。)



【写真左上】大会の進行など運営を頑張る実行委員の皆さん。【写真全て】想いを託し、次の走者にバトンをつなぐ姿、それを確実に受け取ろうと全力で集中し、走り出す姿、仲間を懸命に応援する姿。

～ 活動後の感想文より（一部抜粋）～

1年1組 OOさん

（略）ある子がバトンを落としました。しかし、誰も文句を言わずに、みんなが「頑張れー」と言っていました。応援では、1組が1番声が出ていて、応援する人も応援される人もうれしくて、そこには、温かくて熱い言葉や応援がたくさんありました。（略）私も走る寸前までドキドキが止まりませんでしたが、みんな、「OOがんばれー」や、「OOがんばれー」と名前を呼んで、一人一人が心を込めて応援してくれて、私も練習通り全力で走り抜けることができました。無事、1位を取ることができてうれしかったです。小さな協力が、こうやって結果に出たんだなと思いました。しかし、泣いている子を見て、うれしい人がいるから悲しい人もいるんだ、2位3位があるから1位があるんだ、と思いました。そう思うと、一瞬、心から喜ばせませんでした。だけど、学年のみんながこのリレーを通して、みんなと友情を深めることができたし、団結ということや、たくさんのことを学ぶことができたのだと思います。また一つ、素敵な思い出が増えました！

1年2組 OOさん

（略）本番では3位ですごくやさしかった。でも、2組の団結力がより深まったと思うし、みんなもこれ以上ない真剣な顔で走っている姿を見てすごく感動した。バトンパスも思っていたよりも上手くいってすごくうれしかった。応援する時もヤジや暴言が一切なく、失敗しても励ます言葉が多く聞こえた。すごく前向きな言葉が多かったので良かったなと思った。みんなすごく楽しそうに走っていたり、一生懸命応援したりしている姿を見ると、体育委員の仕事をしていた良かったなとやりがいを感じたし、体育フェスティバルを企画出来ていいなと思った。今回のリレーを通して、何事にも一生懸命取り組む大切さを学んだ。そして、仲間と協力し合う大切さも学ぶことができた。陸上競技は個人競技だと思っていたけれど、バトンパスの時に声をかけてバトンをつないでいくことで、タイムが上がることはもちろん、団結力も深まっていくことを感じた。だから、バトンを渡す時に、しっかり声を出して頑張ることができた。これからはいろんなことに挑戦して頑張ります。

1年3組 OOさん

今回、全員リレーを行って感じたことは、休校期間が長くて例年と比べてみんなとの交流期間が短かったにも関わらず、バレーでもみんなの団結力やチームワークができていたことです。また、自分は足が遅くみんなの足を引っ張ることもありましたが、みんなは文句も言わず応援してくれました。初めの頃は走る事が嫌だなあとやる気が出ませんでした。しかし、みんなと練習していくにつれ、だんだんと楽しく、やる気がわいてきました。しっかり授業の中で声かけをすることでチームワークを強くすることができていったと思います。そして、今日、とても緊張して、走る事から逃げ出したいとなりましたが、友だちと話していくうちにだんだんほぐれていきました。順番が来た時心臓がバクバクしていましたが、しっかり精一杯の人にバトンを渡すまで走り切ることができました。その後の応援も、声が枯れそうになるほど大きな声で応援することができました。（略）仲間と喜び合い、この嬉しい気持ちを共有することができ、達成感を味わうことができました。仲間が精一杯、一生懸命走っているのを見て、とても格好がいいと感じました。みんなのチームワーク、団結力を見られて良かったです。



1年生の皆さんはどの種目でも、先輩たちに負けず劣らず、最後まで精一杯全力でプレーし、仲間を励まし、応援する姿がありました。悔し涙、うれし涙、歓喜の声、友をたたえる言葉、なぐさめる言葉など、真剣に取り組んだからこそ見られる光景です。学年の先生たちも一緒になり、学年のまとめりや一体感が感じられる、1学年集団の気持ちのいい、素晴らしい活動になりました。【写真上】それぞれの種目で仲間を応援したり士気を高めたりする姿【写真右】講評の中で、1年生の頑張りを「大成功！」とたたえるOO学年主任。

